

- 1 テーマ名
eラーニングを活用した普及活動
- 2 目的
経営計画作成等支援を事例に、課題抽出、遠隔教育教材を作成する。
- 3 調査研究の内容
 - (1) 活用事例等収集
主に、ウェブ型（動画配信）、双方向ライブ型（双方向通信による授業・指導）にタイプ分けされる。
活用事例として、ウェブ型はよく目にするが、学校教育等で導入例の双方向ライブ型での配信授業は事例確認できなかった。双方向ライブ型では、スマートグラスを用いるなどした遠隔指導が一部導入及び先端技術実証として進められている。
 - ウェブ型（動画配信）
 - ・農作業安全eラーニングシステム（農研機構 HP）
農業関係者向け動画配信
 - ・農業eラーニング講座（社団法人全国農村青少年教育振興協）
新規就農向け動画配信
 - ・AGRI for Teams (AGRI AMILE) 導入事例「JAとぴあ浜松」
農家向け講習動画・雇用募集向け仕事内容紹介動画配信
 - 双方向ライブ型（双方向通信による授業・指導）
 - ・NEC営農支援指導システム（NECソリューションイノベータ）導入事例「三重南紀農業協同組合」
 - ・「佐渡島特産『おけさ柿』大規模経営へのスマート農業技術体系の導入実証」（新潟県ほか関係企業等）
 - (2) 課題整理
人 端末・アプリ導入及び操作習熟への意欲
もの 端末が必要、通信インフラの整備状況
かね 端末・通信費用の発生
 - (3) 資料作成
経営計画作成支援を事例として、双方向ライブ型向け資料を作成した。
 - (4) 試行
ア 事例：新規就農に向けた経営計画作成支援
イ 対象：宮盛農園研修生（研修2年目）
ウ 内容：双方向ライブ型での経営計画作成
なお、適宜、対面での対応を実施した。
主な双方向ライブ型での支援は次のとおり。
 - ・オリエンテーションと目指す姿
 - ・現状分析

- ・戦略とロードマップ
- ・先輩経営者との面談
- ・収支等計画作成

エ 端末：パソコン

オ アプリ：WebEx

カ 回数：双方向ライブ型10回，対面3回

(5) その他所内人材育成への活用について

人材育成活用について検討した。

Web型：視聴により基本事項を学ぶ

教材作成をすることで，指導内容理解の深化が可能

双方向ライブ型：視聴により先輩の指導方法等学ぶ

4 成果

○双方向ライブ型を主にした支援で経営計画を完成に導いた。

○移動時間の削減から支援日程の幅が広がり，かつ支援回数を増やすことができた。

○先輩農家と意見交換する場を設けたことで，先輩農家から有益なアドバイスが得られた。また，地域の部会への加入・活動への積極参加につながった。

●対象の感想

・ライブ形式であるため，適宜質問でき取り組みやすかった。

・画面共有で視覚的に指摘等を理解できた。

・日程調整がし易く，時間も有効に使えた。

・先輩農家との面談が気軽に（時間，移動不要）でき，つながりを作れた。

※支援側も同意見。

5 普及指導活動における活用方法

今回試行した経営支援のほか，距離が離れているために意見交換や研究活動が困難であった者同士をつないだスタディークラブなどの活動に活用できると考える。

6 留意事項

実施にあたり，対象が次のことを理解等していること。

・端末・アプリ導入，操作習熟している又は意欲をもっている。

・通信インフラが整備されている。

・端末・通信費用を容認できる。